

視覚支援の活用（3）

兵庫県立芦屋特別支援学校

平成30年9月19日（水）

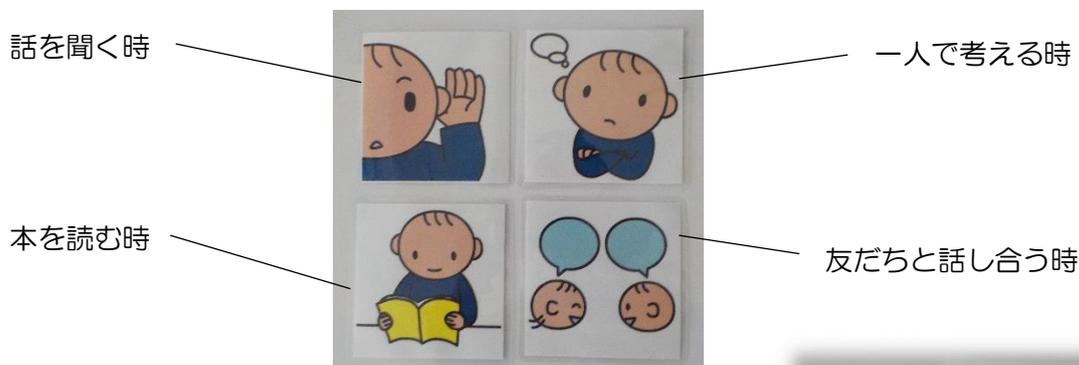
地支セン通信 No. 3

「活動カード」

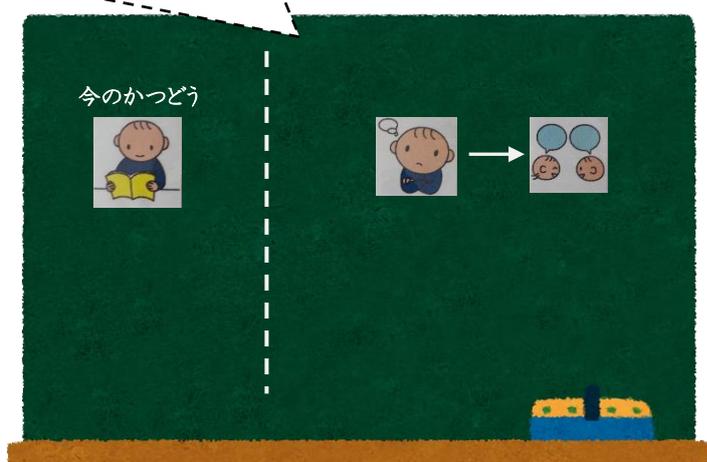
こんな悩みはありませんか？

- ・音声指示だけでは何をしたらよいのか伝わっていないのか、隣の子を見て、確認してから行動するため、みんなとワテンポ遅れている。
- ・活動途中で違うことが気になり、授業で何をしていたのかが分からなくなる。

こんな視覚支援を使ってみたら？



このグッズを黒板の所定の場所に貼ってクラス全体で活用する。
「今の活動」を示したり、「一人で考えた後に、班で話し合いをする」
など見通しを持たせたりする。



何時でも何処でも使えるように、
リングに通して一つにまとめる。
個別対応に活用する。

それにより得ること

- ・音声だけで理解できない児童生徒が、絵カードを見ることにより活動に取り組める。
- ・何をしているのかが分からなくなった時に、絵カードを見て確認することができる。

※カードの絵は、「ドロップス」=視覚支援シンボル集から使用しています。